



# 東中だより

夢を追い、自らを高めよ  
—学べ・磨け・輝け—

## 3月号

さいたま市立東浦和中学校

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 1207-1

☎ 048-873-4141

令和5年3月1日 発行

## 地域に根差す東浦和中学校

校長 遠藤 浩之

正門を入り、昇降口に向かうと、右手の鮮やかな満開の桃色の花が迎えてくれる季節となりました。毎年一足早く春を感じさせてくれる「寒緋桜（かんひぎくら）」です。まだまだ寒い日もありますが、季節は少しずつ春に向かっていくのを感じます。

さて、新型コロナウイルスの感染症法上の分類について、政府は、現在の「2類相当」から、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げる方針を固め、その時期をゴールデンウィーク明けの5月8日とすることを決定しました。また、文部科学省からは「卒業式におけるマスクの取扱い等について」の基本的な考え方として、

○児童生徒及び教職員については、入退場、式辞・祝辞等、卒業証書授与、送辞・答辞の場面など、式典全体を通じてマスクを外すことを基本とする。

○来賓や保護者等はマスクを着用するとともに、座席間に触れ合わない程度の距離を確保した上で、参加人数の制限は不要。

の2点が出されました。この方針に基づき、本校は、ご来賓として本校学校運営協議会委員の皆様をお招きし、会場には3年ぶりに2年生の生徒も参加する形をとることといたします。できることなら、卒業生の保護者の皆様全員をお招きしたいところですが、一定の間隔を空けて座席を配置すると、会場に収まらない見込みであるため、やむなく各ご家庭1名とさせていただきます。それでも、卒業生、在校生が一堂に会し、卒業生合唱のみならず、全体合唱も行いますので、ようやく通常にかなり近い形での開催ができる見込みとなったことは大変喜ばしいことと思っております。

過日、3年生の国語の時間に行われた「卒業公演スピーチ」の一部を参観しました。「理想の大人像について」「尊敬する人について」「私のライフプランについて」「中学3年間で学んだことについて」など、テーマは様々でしたが、どれも素晴らしいものばかりでした。手元に何も見ることなく、仲間たちに向かって堂々と話すその姿。自分の今を冷静に分析しながら、未来を見据えて話をしているその表情は、とてもキラキラしており、実に頼もしい限りでした。この生徒たちなら、日本の将来を任せられるなど思いました。中学校3年間の成長とは、これほど大きなものなのだというのを、改めて実感しました。

また、先週は、3年生の代表生徒2名が、「自分たちの校歌の歌声を、毎日常下校時に流れる放送で使ってほしい。」と、私のところに申し出てきました。もちろん快諾しました。卒業していく生徒たちが東中に残りたいものとして、自分たちが歌う校歌を選んでくれたということは、校長として嬉しい限りです。校歌というものの持つ意味を改めて感じました。卒業証書授与式では、式次第に校歌斉唱があります。これからの未来を担う生徒たちによる本校の校歌は、きっと心に残るものとなると思います。

今年度も残すところ、あと1ヶ月となりました。保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に対し、ご理解とご協力、そしてあたたかなご支援を賜りましたことに、心よりお礼申し上げます。今後とも、引き続き、本校の教育活動にお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。